

<u>CLASSE :</u>	声に出して読む戯曲 LeS-27/7L
<u>Jour :</u>	火曜日 前期 3回 (オンライン授業)
<u>Horaires :</u>	19:00-20:50
<u>Niveau :</u>	B1
<u>M./Mme :</u>	Mme Yuka YAMANE
<u>Objectifs :</u>	テキスト理解と音読を通して戯曲を楽しむ。
<u>Descriptif :</u>	<p>戯曲作品(演劇台本)は、声に出されることにより、より一層その魅力を発揮します。</p> <p>授業では戯曲の抜粋を読解し、状況やセリフの心理を理解した上で、発音やイントネーションにも気を付けて音読します。</p> <p>戯曲を味わい、楽しみましょう！</p> <p>ふたつの作品からそれぞれ一部を抜粋します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Marius (Marcel PAGNOL) 映画化されたり、かつては宝塚歌劇団でも演じられた作品です。 ・ Antigone (Jean ANOUILH) ギリシャ悲劇を題材にした現代劇です。(作品内容の紹介は次ページ)
<u>Matériel :</u>	プリントを配布します。
<u>Remarques :</u>	

取り上げる作品の紹介

『マリウス』

マルセル・パニョルの Trilogies marseillaises (マルセイユ三部作)の第1作目。

フランスの港町マルセイユでカフェを営むセザールの息子マリウス。船乗りになって世界を航海したいという夢があるが、なかなか踏み出せず、カフェを手伝っている。

マルセイユ港の一角で繰り広げられるセザールとマルセルを巡る人々との日常、そしてその中でおこるちょっとした出来事や大きな出来事が描かれた作品。

『アンチゴーヌ』

ソフォクレスのギリシャ悲劇のアヌイによる翻案。

アンチゴーヌの父オイディプス亡き後、王位を巡る争いでアンチゴーヌのふたりの兄エテオクレスとポリュニケスが相討ちとなり、オイディプスの弟クレオンが王位に就く。クレオンは、エテオクレスを英雄として葬る一方、反逆者とされたポリュニケスの埋葬を禁じ、その命令に背く者には死刑を宣告。が、アンチゴーヌはクレオンの命令に反して兄ポリュニケスの遺体を埋葬しようと土をかけ、捕えられる。息子の婚約者でもあるアンチゴーヌをなんとか助けようとするクレオン。だが信念を曲げないアンチゴーヌはクレオンの言うことを聞かない。

法と秩序、人としての務めと良心、いろいろなことを考えさせる作品。